

知の市場年次大会 化学生物総合管理学会・社会技術革新学会 春季討論集会

知の市場の年次大会と化学生物総合管理学会・社会技術革新学会の春季討論集会を合同で開催します。それぞれの講演・発表を契機に自由闊達な討論を行い、議論を深めることをねらいとしています。

日時 2022年3月9日(水) 19:00~23:00

会場 オンライン開催 (Zoom meeting)

プログラム概要

「被服学を通じた STEAM 教育の試みとそこから見える教育を巡る動向」

都甲由紀子 (大分大学教育学部 准教授、社会技術革新学会 会員)

「香りは要りますか? —— 香り創りの現状と将来 ——」

藤田豊 (化学生物総合管理学会 会員、日本科学技術ジャーナリスト会議 会員、
元 香料会社フレグランス研究開発部 部長)

〈プログラム詳細は、裏面をご参照ください。〉

参加方法

★参加資格: 学会の会員以外の方も参加できます。

★参加登録: 事前登録制です。参加希望の方は、①参加者氏名 (フリガナ)、②所属 (勤務先等) を明記のうえ、
E-mail (kagakus*cbims.net) 宛てにお申込みください。

★参加費:

学会員の方: 参加は無料です。

非会員の方: 参加費は1,000円です。3月2日(水)までに以下の口座にお振込み下さい。

みずほ銀行飯田橋支店、普通口座 2329303、口座名 特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

※1 振込の際は、必ず参加者カナ氏名を振込み人名義として下さい。

振込手数料はご負担ください。

※2 出欠にかかわらず、一度振り込まれた参加費の返金はい行いませんので、
予めご了承ください。

※3 領収書は発行いたしませんので、振込時のご利用明細票をご活用ください。

★参加証:

振込の確認の後、開催日の前々日までに、Zoom meetingに参加するために必要な情報を記した参加証を
メールにてお送りいたします。

連絡先: 化学生物総合管理学会事務局 kagakus * cbims.net (* を@に直して送信して下さい)

知の市場第13回年次大会 化学生物総合管理学会・社会技術革新学会 春季討論集会（2022）

日時: 2022年3月9日(水) 場所: オンライン開催(Zoom meeting)

時間	氏名（敬称略）	講演演題
19:00	開会挨拶 増田 優	
19:00-21:00	都甲由紀子 大分大学教育学部 准教授 社会技術革新学会 会員	被服学を通じたSTEAM教育の試みと そこから見える教育を巡る動向 STEAM教育とはScience, Technology, Engineering, Arts, Mathematicsの5つの要素を持つ教育理念として知られる。現在、経済産業省や文部科学省が推進しており、小中高の学校現場において、教員は児童生徒が科学技術とリベラルアーツを組み合わせるよう導くことが求められている。 このSTEAM全ての学問分野の発展に多大なる影響を及ぼしてきた「機械」は「機(はた)の械(からくり)」と読み、その生い立ちは衣服とつながっている。布を織るしかけ以外にも、服の生産、着用、手入れにはSTEAMに通じる背景がある。一方、服を着ることは人類であれば性別・年齢を問わず全員が当事者であることから、児童生徒にとっても自分ごとの学習になる。そこで、被服学の知見をSTEAM教育に活用することを提案するとともに、その実践過程で見えてきた今日の教育を巡る動向を踏まえ、その課題を論じる。
21:00-23:00	藤田豊 元 香料会社フレグランス研究開発部 部長 日本科学技術ジャーナリスト会議 会員 化学生物総合管理学会 会員	香りは要りますか？ —— 香り創りの現状と将来 —— 石鹸は良い香りがするが、中には「無香料」と表示されているものもある。消費者へのアピールを考えてのことだ。では、香料は必要ないのだろうか、どのような目的で使われているのだろうか。化粧品や食品などのメーカーに対し、商品の香りを創りB2Bで供給しているのが香料会社だ。香り創りの現状とその特徴を紹介し、あわせて表示問題や天然志向など消費者意識との関係も考察する。さらに、これからの香料産業について、その持続可能性を探る。
	閉会挨拶	
	※題名、発表順は都合により変更になる場合があります。	